

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2023年8月1日 239号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



小橋氏(魚肉食品開発)の工房でお手伝い。1月1日



大食堂厨房にて、昼食用のオムライス作り。12月20日



大食堂のガスオープンに点火。7月14日



おにぎりを作ります。7月14日



厨房で働く従業員との会話。6月29日

レダの食品管理「改革」に果敢に挑む

これまで長い間、レダの内務を担当してきたのは大和田先生です。それを引き継いだのが、チャパボラ二期生の大野友誉さん。食品管理の分野に大きな変革を起こそうとしています。

大野さんが初めてレダに来た時の状況を教えてもらおうと、正直、誰も食中毒になっていないのが不思議に思うほど衛生面が全くなっておらず、かなり衝撃でしたと語っておいりました。

しかし大和田先生から内務の大部分や、食品運びのベース等、主な基盤を受け継ぎながら、日本で8年間飲食店の業務に携わった経験をここで活かしたのです。今は効率アップのため様々な側面から管理の形態を少しずつ変えながら、より発展させるために尽くしてくれています。(アナログからデジタルへ)

【大野さん記】食材管理においてまず始めたことは、衛生面の改善でした。食材管理のあり方を全面的に見直していきました。例えば、肉と野菜が同じボウルに入っていたりしましたが、冷蔵庫の掃除、除菌から始め、肉と野菜の冷蔵庫を分けました。

また週一回アキダバン(貨客船)が運んでくる食材も、七割が腐っているか傷んでいる状態で、日本ではあり得ないほどの品質の悪さ。野菜が腐り溶けてドロドロのものもありました。しかし供給者と頻繁にやり取りをして努力を重ねていく中で、今では傷んでいるものが1/2割までに減りました。

これまでは真夏でも冷蔵庫に入れず、常温に食材を置くこともありましたが、それもやめさせ、保管を徹底的に行いました。また今までは年間を通じて同じ野菜を一定数しか注文してこなかったのが、献立もずっと同じ(ー)でしたが、旬の野菜も少しずつ加え、変化を持たせていきながら、自分でも料理を作り、献立のレパートリーを増やしてきました。

また食品管理の改善で大変だったことは、従業員さんたちとのやり取りでした。彼女たちの家は、冷蔵庫もないような村にあり、言語の壁や価値観の違い等もありながら、一から教えるければなりませんでした。言ってもなかなか伝わらない、変わらないという経験をしながら、諦めそうになっても諦めず、補えることは私が補って行きました。相手を変えようとする前に自分が変わらないと行けないという言葉が胸に刻み、長い目で見られるように努力していきました。

また注意をする時も彼女たちを傷つけないように言葉を慎重に選びました。日々暑い中で食事を一生懸命作ってくださることに感謝の心を忘れず、その感謝を言葉で伝え、信頼し、愛し、良い関係を築けるように努めました。(次面につづく)

レダ基地スナップ



訪問者一行のレダ到着を歓迎するスタッフと従業員。7月12日



給水塔(日陽園タワー)の上よりレダ研修所等を俯瞰。6月22日



チャパボラ二期生を歓送する夕べ。6月13日



アルマジロと共に。



炎天下の植樹園で下草を刈るチャパボラ。



第5回エスペランサ村教育プロジェクトにて。7月6日



りんごでスイーツを。



カボチャの収穫。7月17日



お祝いの日の韓国料理、ジョン。5月7日



ローストハーブチキン。4月14日



七夕の日の特別メニュー。7月7日

食品管理改革 (二面より続く) そうしていく中で、具体的に変化していったことがありました。従業員がラップをしてくれるようになった、食べ物の出しっぱなしが減った、冷蔵庫の開けっ放しが減った、おかずのアレンジをしてくれるようになった、新しいものから使うのではなく古いものから使えるようになった、等々です。

日本の社会からしたら当たり前のことですが、その当たり前ができるようになっていきました。こうした従業員の成長は喜びです。また多くの人から「本当に変わったよ!」と「言われたときに、諦めずに頑張った良かったなあ」と実感し、それがまた力になっていきます。

これからの目標として、日本の厨房の規範レベルまで持っていきたいと考えています。与えられた短い期間の中でいかに基盤を作り、土台を固めて行けるかが重要です。また従業員をどこまで育てて行けるかを日々考え、挑戦し続けていきます。



南米遠望 (4)

わだけんいち
和田賢一

南米を席卷する左翼政権

パラグアイで4月30日に大統領選挙が行われ、右派で与党コロラド党候補のサンテイアゴ・ペニャ氏が勝利しました。パラグアイ選挙管理当局によると、ペニャ氏の得票率は42・74%。野党連合から立候補したエフライン・アレグレ氏は得票率27・48%で、ペニャ氏が15ポイント以上の差をつけて勝利しました。8月、同大統領の就任式が行われ、ペニャ政権が本格的にスタートを切ります。

今回、このパラグアイ大統領選は世界の注目を集めていました。というのも、ここ数年の間、中南米では次々と左派政権が誕生し、かつてアメリカの裏庭として存在感を示していた右派政権が倒れていき、見る影もない状態になっていたので。

今回のパラグアイ大統領選でも、野党のアレグレ候補は「選挙に勝利した暁には台湾との国交を断絶し、中国と国交を結ぶ」と度々表明していました。パラグアイの与党も警戒を強め、また世界の民主主義勢力からも注目を高めてきたというわけです。結果的には、与党のペニャ氏が勝利したことで、パラグアイの右派はもとより南米各国の右派陣営もホッと一息ついたといった印象です。

パラグアイは、南米諸国で唯一、台湾との国交を有する国です。2017年3月にパナマが、2018年8月にエルサルバドルが、今年3月にはホンジュラスが台湾との国交を断絶しました。現在、台湾と外交関係を有する国は世界で13カ国となっています。ということは、今日の南米での左派政権の台頭の背後に中国の影があったと言わざるを得ません。

ここで、中南米の歴史をひもといてみましょう。通常、中南米の歴史は、「先コロンブス時代」「植民地時代」「独立国家時代」に大別されます。中南米の国々からみれば、大いに異議が唱えられそうです。それは、1492年のコロンブスの到達を一つの指標として語られているからです。ここでは、その通例を基に話を進めることにします。

コロンブス以後、中南米の広大な土地は西欧列強

の「草刈り場」となっていました。1810年に始まる各地の独立戦争を経て1820年代までに、今日の国家群の原型が形つくられました。ただし、カリブ海諸国の独立は1960年代に入ってからです。また、キューバとパナマの独立は20世紀初頭によく実現しました。

ここで忘れてはならないのが、先コロンブス時代のアステカ文明、インカ文明などの存在です。近代になって、ようやくそれらの文明圏の評価が定まったといえましょう。

第2次世界大戦後の南米の「独立国家時代」は冷戦時代の真只中であつたため、南米各国は自国の立



より紙abc、ペニャ氏夫妻。集会支持者
の関係を重視した
の選出を迫られ、
かソ連寄りかとい
う選出を迫られ、
大方の国は米国と
の関係を重視した
のでした。196
2年のキューバ危
機を挙げるまでも
なく、米国の力は
絶大なものでした。
ところが、ソ連の
影響を強く受けた
国も現れました。
それと相まって、
南米の政治思潮に

強い影響を与えたのが、「解放の神学」でした。この神学の骨子は、貧困に苦しむ人々の視線で聖書を解釈する運動で、次のように解釈したのでした。

「貧しかったイエスは貧困層や抑圧された人々に寄り添って伝道した。イエスの死後、弟子たちも公平な社会を築くために努力するべきだった。よって教会の教理は貧困層の視点から生まれるべきであり、福音の中心は、貧困層の権利を確立することを目標さねばならない」と。結果的に解放の神学は、労働者階級を支持するための思想となつたのです。

世界的に大きな転機が訪れたのは、冷戦構造の崩壊でした。ソビエト連邦の崩壊、ロシアの復活です。

ポスト冷戦で、米国を軸として西側陣営が世界をリードするのようには見えませんが、世界の様相は、二大陣営による「平和」以上に細分化され、中国の台頭に現れるように中心軸が分散化される結果となつてしまいました。それが現在の世界情勢の姿です。

本来、南米は豊かな大陸です。インカ文明やアステカ文明は「黄金の文明」であつたように、さまざまな鉱物資源に恵まれています。ベネズエラは産油国として知られています。ブラジルやアルゼンチンは農産物の生産量では群を抜いています。南米大陸は北米大陸同様に豊かな大陸であつたのです。世界から人々は「夢」を求めて入植していったのでした。

今日の南米は、政治・経済・社会などあらゆる分野で混乱しています。その主たる原因は、左右の思想の葛藤と、民生の安定に欠かせない経済の混乱によるものと言えましょう。

1965年、世界40か国を巡回された文鮮明総裁、韓鶴子令夫人は、次のようなエピソードを残されています。飛行機でアンデス山脈を越える時、「南米には主人がいない」という神の啓示を受けられたというのです。今思うに、その時の「神の声」は今日の状況をみれば、納得できるものです。

民主主義陣営のリーダーとしての米国が、各国への接し方を誤れば、当然のこととして「反米」という空気は高まってきます。キューバやベネズエラの左翼政権はその代表的な現象です。その上、経済的に成長した共産・中国が、さらに外交的に世界各地に触手を伸ばしています。今回のパラグアイ大統領選の焦点の一つが、「パラグアイの農産物の輸出先を、台湾より中国に変更した方が自国の利益につながる」という左派の言動でした。その裏に、中国の影が見え隠れしているのです。

要は、政治、経済、文化などの各分野で如何なる指導者を得ることができかが、南米各国の最大の課題でしょう。

◆参考資料 ◆intdas 2007年「ラテンアメリカの左翼政権ブーム」◆2022年6月25日ロイター電 ◆朝日新聞出版「知恵蔵」◆毎日新聞、東京新聞、世界日報の各紙

第26回ワンデイセミナーのご案内

来る9月末、秋の風も爽やかなる頃、第26回ワンタナール・ワンデイセミナーを開催いたします。

●日時：9月30日(土) 10時開会、16時終了予定

●会場：国立オリンピックピック記念青少年総合センター センター棟(小田急線参宮橋駅徒歩7分、または渋谷駅西口1番乗り場「宿51」バスで代々木五丁目すぐ)

●参加費：2000円(昼食を含む)当日受付にて。

新連載コラム：レダの電気設備全般ほか、さまざまな分野の難問・難題を快く引き受けてくれる、頼もしいエンジニア、山崎茂章氏の執筆。始まります！

新連載コラム

【第1回】この度、パンタナール通信で少しばかりスペースをいただくこととなりました。元来、文章を書くのが下手な理系ですので、幾分配慮に欠けた表現があるかもしれませんが、ご容赦頂きたいと思えます。今回は初回ということで、自己紹介も兼ねて、私から書いていきたい内容を述べようと思えます。私が電気設備担当として、レダに足を踏み入れたのは、昨年の7月ですので、ほぼ1年経つたこととなります。その間、レダの自然をはじめ、沢山の恵みを頂きました。



しかし、一年経って一番強く感じるのは、それらの体験が実は、沢山の方々の精誠の上

になりたっているものであったということ。修練所の建物をはじめ、浄水設備・発電設備・食事の準備をしてくれる従業員の方々、他にも沢山あります。そんなことが言葉だけでなく、自分の肌で感じられる場所がこのレダだったということ。そんなことを少しでも感じていただける内容を書いていくことができればと思っています。これから、よろしくお祈りします。

(写真は給水塔に揚水センサーを設置した山崎氏)

●共催：一般社団法人南北米福地開発協会、およびNPO法人地球の緑を守る会

参加を希望される方は、メールまたはフアックスで、下記の当法人事務局までお申し込みください。

プログラム(暫定)

- 「レバランド・ムーンの思想とレダ開発」講師：柴沼邦彦 当法人理事 ●「レダプロジェクトの展望」中田欣宏 当法人代表理事 ●「レダにおける植樹活動」高津啓洋 NPO法人地球の緑を守る会代表理事 ●「レダ体験報告」帰国したばかりのチャパボラ青年 ●分科会各講師を囲んで質疑応答・懇談

あなたの腕と経験をレダで活かしませんか(3)

これまでの人生で培った腕を、価値ある場所で活かしてみませんか？レダがあなたを待っています。

■養殖技師：レダでは、パクーとオニテナガエビの増殖と養殖に取り組んでいます。パクーは、人工孵化から成魚を育成し、冷凍品を近隣地域で販売しています。これまでの実績で、美味しさ、品質の高さには定評があります。今後、販路の拡大に伴い、供給態勢の整備、生産性の向上、そのための養殖設備の改善、コストの低減、飼料の自給率の向上、魚肉加工食品の開発、近隣地域への技術移転の研究、ほか、仕事と研究課題は十分にあります。

オニテナガエビの養殖は、鮮文大の水産生命医学科の学生をはじめとする青年たちが主力となり、研究が進められてきました。成功と失敗の資料がレダにデータとして蓄積されています。オニテナガエビの本格生産はハードルがやや高いものの、軌道に乗れば、パラグアイでは面期的な事業になり得ます。

お問い合わせは下記の事務局へ。



パクーの水揚げ

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

支援金振込口座：ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール:office@asd-nsa.com

ホームページ:https://asd-nsa.com

Facebook:https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>

レダの動画

1. 大元氏と梶本さん、レダ到着 7月12日
2. レダ基地ミニツアー (1) 7月12日
3. レダ基地ミニツアー (2) 7月12日
4. 第5回エスペランサ村教育P 7月6日 (FB)

